

## 令和6年度 教育活動に対する学校評価

学校法人 島田中央学園 みどり認定こども園

1 みどり認定こども園の教育目標

園長 杉岡 弘巳

元気に遊ぶ子

【知】主体性のある子 【意】自分が大好きな子

【情】つながる子 【体】たくましい子

職員目標

【躰】気持ち良い生活をする子

『明日が待たれるこども園』

	評価項目	自己評価		考察	関係者 評価
		保護者	職員		
1	教育目標『元気に遊ぶ子』にそって計画的に教育活動を展開している。	A	A	令和6年度は重点目標「みつけよう やってみよう」を職員や子どもたちの合言葉とし、日常の保育活動の中で主体性を高める活動を考え取り組んできた。伸びてきた子どもの姿として、自分から取り組もうとする、できないことに挑戦する、興味が広くなりやる気が出てきたことや自分を集団の中で出せるようになってきたという保護者の感想が多くあり、夢中になって遊ぶことを通して、遊びを学ぶ力に変えていく力が徐々に育ってきている。	A
2	こども園の行事は年齢に応じた豊かな体験を計画している。	A	A	子どもたちの発達を確認しながら、行事や直接体験を通して成長の幅が広がっていく。長い教育計画の中に縦割り活動、集団活動が入っており、定期的に活動の見直しを進め、新鮮さを保つことができるように工夫している。	A
3	乳幼児の発達を踏まえ一人ひとりの興味関心を探り、子ども達の持っている力や姿を大切にしている。	A	A	保育教諭全体で乳幼児の発達を捉え子どもと向き合っている。0歳児から5歳児の興味関心を職員会議で伝えあい遊びを広げ深める環境を課題として活動計画を考え、アイデアを出し合っている。	A
4	一人ひとりの個性を大切に意欲や自信を持たせている。	A	A	個々への対応として保育記録にエピソードを取り入れて記述し、個々の思いを受け止めるよう努力している。記録を通して園児の成長を学ぶ機会とし、褒め、認め、励ますことが自信へと繋がることを共有できるようにしている。	A
5	集団生活に必要なきまりや、約束の大切さを指導している	A	A	「友だちと一緒にいると楽しい」と集団生活が楽しくなっていく為には、時には我慢しなければならないことや、約束やきまりがある事を年齢ごとに指導をしていく。	A

6	子どもの育ちを保護者と共有しようと心がけ、家庭での状況を考慮しながら子ども理解に努めている。	A	A	保護者の意見には丁寧に対応している。家庭での状況をしっかり受け止め、こども園で友だちと過ごす様子を伝えながら相互の理解が進められるよう連携を図っている。	A
7	計画的に避難訓練、安全点検を行い園児の安心、安全に努めている。	A	A	避難訓練計画の中に消火訓練を毎月行うよう計画している。自分の身は自分で守るという姿勢を幼児のうちから身に着けることが意識出来るよう繰り返しの訓練をして定着を図っている	A
8	室内環境、衛生面の維持や、体調管理に努め定期的な健康診断を行い子どもの『健康』に配慮している。	A	A	施設内の衛生環境には十分配慮している。毎月の身長・体重測定や内科・歯科等の健康診断では、身体と共に心の面などの相談まで園医と連携をとって進めている。	A
9	一人ひとりの人格を尊重し、自己肯定感を育む教育保育に取り組んでいる。	A	A	自分の良さに気づかせていく。小さな活動の中でも『行為の価値づけ』をすることが、自信や自己肯定感を高めることに繋がっている。	A
10	こども園は子どもたちに【明日が待たれるこども園】となっている。(明日遊ぼう！友だち先生と過ごせることを他にしみにしている)	A	A	「明日も友だちと遊びたいな」「こども園に行くのが楽しみ」という明日を心待ちにする環境設定や教育保育を心がけたい。 保育教諭全体が他クラスの子どものことを知っている強みを生かして担任でなくても積極的な関わりをしていく。	A

#### 【教育活動の評価から】

##### 現況

- 令和6年度は教育目標『元気に遊ぶ子』とし、①主体性のある子②たくましい子③人・もの・こととつながる子④気持ちのよい生活をする子⑤自分が大好きな子の5つの資質・能力を育成するために、重点目標として「見つけよう やってみよう」を職員・子どもの合言葉として、行事や園外活動、日々の保育での実践など、さまざまな活動に取り組み主体性を伸ばしていこうとしました。
- 園目標『明日が待たれるこども園』という職員目標は高い評価をいただきました。子どもたちにとって園の生活が楽しみになり友だちとの関わりが深まっているのを感じます。各家庭のご協力があった結果でした。
- R6年度も感染防止に向けての対応を続けました。保護者のマスク着用は個人の判断に委ねるなど活動にも活気が戻ってきました。そのような中においても、お誕生会には、該当する保護者の参加もあり、子どもたちもにこにこ笑顔で会に参加することができました。

##### 【元気に遊ぶ子の再考】

- ★遊び=学びという視点で活動全体を見直し、主体的に遊びに取り組む子を育成していきます。令和6年度は、子どもたちの興味・関心や好奇心を高められる環境構成を進めたが、次年度は園庭の環境構成も含めて、子どもが「遊び込める場」を作っていくようにしたいと考えています。